



～あんず通信では、感染症の流行状況を毎月お知らせしています～

【感染症だより】

～夏風邪について～

福生市周辺では先月に引き続き胃腸炎と夏風邪が流行しています。右の表は、東京都の小児科定点把握数です。これは東京都健康安全研究センターが毎週発行しているものです。

手足口病を起こすウイルスには複数種類あります。エンテロウイルスや、エコーウイルス、コクサッキーウイルスなどです。この内、コクサッキーウイルスA6型は、罹患後1-2か月してから爪が割れたりはがれたりする症状がみられることがあります。

定点種別	対象疾患	2022年			
		27週	28週	29週	30週
小児科	RSウイルス感染症	278	379	399	440
		1.07	1.49	1.56	1.72
	咽頭結膜熱	75	72	36	30
		0.29	0.28	0.14	0.12
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	48	55	37	33
		0.19	0.22	0.14	0.13
	感染性胃腸炎	1,435	1,289	794	703
		5.54	5.05	3.10	2.75
	水痘	17	15	27	13
		0.07	0.06	0.11	0.05
	手足口病	567	641	795	1,216
		2.19	2.51	3.11	4.75
	伝染性紅斑	4	2	2	5
		0.02	0.01	0.01	0.02
突発性発疹	116	80	59	82	
	0.45	0.31	0.23	0.32	
ヘルパンギーナ	197	256	254	384	
	0.76	1.00	0.99	1.50	

～新型コロナウイルスについて～

東京都では7月中旬に第7波のピークとなりました。発生数を見ますと、8月8日以降実行再生産数は1を切って減少傾向となっています。とはいえ、現在流行しているオミクロン株BA.5は軽症化しており、発生数はあまり参考にならなくなっています。重要なのは重症化率や死亡率です。重症化率や入院率、病床使用率は第6波よりもさらに下がっています。データは厚生労働省のホームページからどなたでもご覧になれます。

8月2日に日本感染症学会、日本救急医学会、日本プライマリ・ケア連合学会、日本臨床救急医学会の4学会が連盟で次のような声明を出しました。『65歳未満で基礎疾患や妊娠が無ければ慌てて検査や受診をする必要はありません。自宅療養を続けられます。～中略～ほとんどが2～4日で軽くなります。オミクロン株に罹った時の自然経過は“かぜ”と大きな違いはありません。』また、次のような場合は受診するようにしています。

『水分が飲めない、ぐったりして動けない、呼吸が苦しい、呼吸が早い、乳幼児で顔色が悪い、乳幼児で機嫌が悪くあやしてもおさまらない』とあります。もし、緊急性が判断できない場合には、医療機関を受診されるか、#8000などで相談されると良いでしょう。

～新型コロナワクチン副反応について～

厚労省から8月5日に発表されたワクチン副反応報告では、因果関係不明ですが累計1796人死亡されました。また、重篤な副反応は7557人でした。5～11歳の副反応報告の110件のうち、28件が重篤と報告されています。

表1：7月しみず小児科・内科クリニックで診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	胃腸炎(7デノ8含む)	189
2	手足口病	64
3	溶連菌	28
4	ヘルパンギーナ	23
5	新型コロナウイルス	21
6	突発性発疹	6
7	咽頭アデノウイルス	5
8	RSウイルス	4

★病児保育室あんずでの新型コロナ対策★

病児保育室内では、マスク、手洗い、消毒、換気など定期的に行っています。また、出来る限り隔離室を利用し、子ども同士が同じ部屋にならないよう配慮しております。ご予約の際には、感染予防のために新型コロナウイルス感染者との接触歴や流行地に行っていないか等お聞きしております。ご協力のほど宜しくお願い致します。

★ 夏休みのお知らせ ★

下記の期間は夏休みとなります。
ご不便をおかけしますが何卒宜しくお願い致します。
病児保育室あんず：8月13～21日
しみずクリニック：8月14～21日
★8月22日から通常どおりとなります

あんず通信バックパ-は
クリニックホームページからご覧になれます。
す。 <https://ssn-clinic.net/>

～あんずからのお知らせとお願い～

★空き状況を Web で確認出来るようになっております。しみず小児科・内科クリニックのホームページから確認出来ます。ご予約は必ずお電話でお願い致します。
★キャンセルをされる場合は、留守番電話で構いませんので当日8：30までに必ずご連絡をお願い致します。利用ご希望の方が1人でも多く入れるようご協力をお願い致します。

